

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	国語 II Japanese II		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・国語	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	2 年共通	必修・必履修・ 履修選択・選択の別	必履修
	担当教員・所属系	杉山明・情報システム系 常本美代子・非常勤 連絡教員：杉山明・情報システム系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	人文学／文学・言語学		
	学科学習目標との 関連	本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」「⑤グローバルな視点と社会性の養成」及び、「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成」であるが、付随的には日本文化への理解の深化が「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」にも関与する。		
	授業の概要	『国語総合』と『古典』の教科書を使用し、現代文、古文、漢文の授業を行う。		
	学習目的	現代の日本語や日本文学、ひいては日本文化の基礎となっている古典文学（古文・漢文）を学び、感性を磨く。 読み、書き、話し、聞く力、文章を理解して考える力の向上を目指すと共に、日本語に関する常識的な知識を身につける。		
	到達目標	1. 現代の様々な文章を読み、論理的かつ多角的な理解力を養うと共に、柔軟な発想や思考力を育む。 2. 日本語に関する知識を拡充する。 3. 古典を読み、その価値を知ると共に、日本文化への理解を深める。 ◎効果的な説明方法や手段を用いて、コミュニケーションを図れる。		
履修上の注意		本科目は、2 学年の課程修了のために履修（欠席時間数が所定授業時間数の 3 分の 1 以下）が必須の科目である。		
履修のアドバイス		次回の授業に向け、作品に目を通すと共に、音読練習を行い、読めない箇所がないか確認すること。毎週漢字小テストを行うので、必ず勉強して受験すること。また、日頃から本や新聞を読んだり、文章を書いたりし、自身の日本語力を向上させるよう努めること。		
基礎科目		国語 I（1 年）		
関連科目		国語Ⅲ（3 年）、国語Ⅳ（4）、日本文化論（4）		

授業にかかわる情報			
授業の方法		・『国語総合』と『古典』の教科書を用い，現代文，古文，漢文の授業を行う。 ・毎週，漢字小テストを実施し，適宜，課題提出物を課す。	
授業計画	開講週		内容〔項目〕(指示事項)
	前期		
		1 週	ガイダンス
		2 週	[現代文] 随想
		3 週	[現代文] 随想
		4 週	[古文] 説話
		5 週	[古文] 説話
		6 週	[漢文] 故事・逸話
		7 週	[漢文] 故事・逸話
		8 週	前期中間試験
		9 週	前期中間試験の答案返却と解説
		1 0 週	[現代文] 評論
		1 1 週	[現代文] 評論
		1 2 週	[古文] 随筆
		1 3 週	[古文] 随筆
		1 4 週	[漢文] 史話・史伝 (前期末試験)
		1 5 週	前期末試験の答案返却と解説
	後期	1 6 週	[漢文] 史話・史伝
		1 7 週	[現代文] 小説
		1 8 週	[現代文] 小説
		1 9 週	[古文] 日記
		2 0 週	[古文] 日記
		2 1 週	[漢文] 漢詩
		2 2 週	[漢文] 漢詩
		2 3 週	後期中間試験
		2 4 週	後期中間試験の答案返却と解説
		2 5 週	[現代文] 評論
		2 6 週	[現代文] 評論
		2 7 週	[古文] 物語
		2 8 週	[古文] 物語
		2 9 週	[漢文] 文・寓話 (後期末試験)
		3 0 週	後期末試験の答案返却と解説

教科書，教材等	教科書：『高等学校 国語総合』『高等学校 古典B』（明治書院） 『新訂総合国語便覧』（第一学習社），『漢文への招待』（桐原書店） 『熟語を音訓から学ぶ一品詞別一頻出漢字マスター3000』（尚文出版） 参考書：『国語辞典』『古語辞典』『漢和辞典』（どの出版社のものでも良い）
成績評価方法	・成績は，定期試験（80％）＋漢字小テスト（10％）＋課題提出物（10％）の合計から評価する。 ・定期試験は，計4回実施し，その評価割合は同等とする。再試験は，原則として実施しない。 ・漢字小テストは，毎週授業時に行い，その平均点を成績に算入する。再テストは，原則として実施しない。 ・課題提出物は，長期休暇中や単元終了時等に課す。詳細はその都度指示する。
受講上のアドバイス	・授業開始時刻に遅れた場合，20分までは遅刻，それ以降は欠課として扱う。 ・欠課する（した）場合は，欠課届あるいは公認欠課届を提出すること。漢字小テストは，欠課の届け出がなかった場合，当該のテストが0点となる。 ・積極的に授業に参加することはもちろんだが，日頃から様々な文章に触れ，読む力や考える力を養うこと。 ・こまめに辞書を引き，語彙を増やす努力をすること。なお，授業中に辞書を引く場合，携帯電話やスマートフォンの辞書を使用することは認めない。

ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目 1	現代の様々な文章を読んで内容を理解し、それに対して自身の考えを述べることができる。		現代の様々な文章を読んで内容を理解し、それに対して自分なりに考えることができる。		現代の様々な文章を読み、その内容を理解することができる。		現代の様々な文章を読もうとしない。
評価項目 2	自発的に日本語に関する知識を増やし、それを活用することができる。		日本語に関する知識を増やし、それを活用する努力をすることができる。		日本語に関する知識を増やす努力をすることができる。		日本語に関する知識を増やそうという気持ちがない。
評価項目 3	古文・漢文を読んで内容を味わうと共に、その価値を知り、日本文化への理解を深めることができる。		古文・漢文を読んで内容を味わうと共に、その価値を知ることができる。		古文・漢文を読んで内容を味わうことができる。		古文・漢文を読もうとしない。
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	80	0	0	0	10	10	100
基礎的能力	80	0	0	0	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0